

第 11 回仙台市新型コロナウイルス感染症対策会議 議事概要

日 時：令和 3 年 3 月 21 日(日)17 時 00 分～17 時 30 分

場 所：仙台市役所本庁舎 3 階 秘書課第一応接室

出席者：郡市長（議長）、藤本副市長、高橋副市長、危機管理監、総務局長、新型コロナウイルス感染症対策調整担当局長、まちづくり政策局長、財政局長、市民局長、健康福祉局長、子供未来局長、環境局長、経済局長、文化観光局長、都市整備局長、建設局長、青葉区長、宮城野区長、若林区長、太白区長、泉区長、会計管理者、消防局長、教育長、議会事務局長、水道事業管理者、交通事業管理者、ガス事業管理者、病院事業管理者
仙台市医師会 永井顧問、宮城県保健福祉部 梶村次長

- 次 第：1. 開 会
2. 議 事
 (1) 本市の感染状況について
 (2) 宮城県の対応について
 (3) 本市の取り組みについて
3. 閉 会

議事要旨：

- (1) 本市の感染状況について
 - ・資料 1 について健康福祉局長より説明
- (2) 宮城県の対応について
 - ・資料 2 について新型コロナウイルス感染症対策調整担当局長より説明
- (3) 本市の取り組みについて
 - ・資料 3 について危機管理監より説明

○関係局長より報告

<文化観光局長>

- ・「Travel 仙台選べるトク旅キャンペーン」について 3/19～31 の適用を停止しているが、その期間の宿泊キャンセル分の補助金相当額を支援金として事業者に交付する。
- ・「東北デスティネーションキャンペーン」について、4/3 に予定していた仙台駅でのオープニングセレモニーは中止、本市独自の取り組みも当面の間中止、東北 DC 推進協議会のイベントも本市対象分については慎重な判断を求めている。

<教育長>

- ・卒業式及び入学式については、参加者の限定や時間短縮などの感染対策のうえ、実施予定。
- ・4/11 まで児童、生徒の外出や移動の自粛を保護者宛の文書で依頼。
- ・部活動での練習試合や合同練習会についても 4/11 まで自粛。

<経済局長>

- ・資料 4 について説明
- ・感染症拡大防止協力金の迅速な支給に向けて準備を進める。
- ・協力金に加えて、本市の「時短要請等関連事業者支援金」制度で支援する飲食店の対象を拡大するとともに、売上減少額に応じて支給する支援金を増額して、法人には最大 120 万円、個人には最大 60 万円を支給する方向で調整している。
- ・緊急事態宣言や時短要請の影響は飲食店以外にも多方面に及んでいることから、飲食店以外の関連事業者への追加支援策も拡充していきたい。

- ・具体的には、現在申請を受け付けている「時短要請等関連事業者支援金」の対象に、このたびの緊急事態宣言と時短要請により影響を受けた事業者を新たに追加し、前年比で売上が30%以上減少した事業者を広く支援する方向で、鋭意、制度設計を詰めている。

○市長より指示

- ・今回、3月25日午後9時から4月12日午前5時までの期間、再度、営業時間短縮の要請を実施することとなる。改めて、飲食店、それを利用する市民に対する感染防止対策の徹底の呼びかけを強化すること。
- ・前回、約一ヶ月半にわたる時短要請に協力した飲食店には、大変厳しい状況にある中、今回再度の要請への協力をお願いすることになるので、協力金等の円滑な支給などの支援の準備も迅速に進めること。
- ・本日の県の本部会議で、県内の感染状況はステージ3であると判断された。この危機的な状況から一日も早く抜け出すためには、市民一人ひとりの日々の感染防止対策の実践が重要となるので、改めて、緊急事態宣言でお願いした県全域での不要不急の外出・移動の自粛など、感染抑制対策の周知を図ること。
- ・現在の感染拡大の状況を踏まえ、積極的疫学調査の支援に、北海道、東北の各県から保健師の派遣をもらっているので、応援の保健師と連携して保健所体制の強化を図り、感染の抑制に全力を挙げること。
- ・ワクチン接種についても、国や県、医師会等と連携を図ってしっかり準備を進めること。
- ・その他、各局等における取り組みについても万全を期すこと。

○仙台市医師会 永井顧問より

- ・現在の感染者数は人口割合からして東京と同レベルの厳しい状況で、長期戦となりそうだ。
- ・酒類提供の飲食店の時短はよかったと思うが、協力金をもらわないかわりに時短に協力しないお店が危ない。
- ・医療現場で患者を見ていると市民の気持ちが緩んでいる印象。
- ・欧米では感染者が多かったが、ワクチン接種が進んで落ち着いてきた。日本はワクチンが足りないなので、その対策が必要。
- ・高齢者の感染が増えてきており、高齢者施設でのクラスターを危惧している。
- ・飲食店でクラスターが発生した場合は、店舗名公表などの強い措置をお願いしたい。

○宮城県保健福祉部 梶村次長より

- ・深刻な状況だが、東北各県をはじめ、全国の応援をもらいながら、今後も仙台市と一緒にこの難局を乗り越えていきたい。引き続きよろしくおねがいしたい。

○市長より総括

- ・国の緊急事態宣言が解除されるが、本市では、これまでとは明らかに異なる深刻な感染の拡大が続いており、なんとしても早期にこの状況を改善させていかなければならない。
- ・今回、市内全域の飲食店への営業時間の短縮要請を行う。事業者には、コロナ禍での店の運営は苦労も多く、大変心苦しいところではあるが、この感染状況等も理解してもらい、時短要請への協力をお願いすること。
- ・現在の本市のこの大変厳しい状況をくい止めることを最優先に、国や県、医療機関などとの連携をさらに密にしながら、市民、事業者とともに、全庁を挙げて取り組んでいく。

以上